

## 入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 令和元年11月6日(水)
- 2 場所 都市再生機構九州支社 第1会議室
- 3 委員  
[委員長]  
井上憲男(一般財団法人顧問)  
[委員](五十音順)  
大枝良直(大学准教授)、半田萬(弁護士)、山口謙太郎(大学教授)
- 4 審議対象期間 平成31年4月1日～令和元年9月30日
- 5 抽出件数

|   | 入札方式別   | 抽出件数 |
|---|---|------|
| 1 | 一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約(工事) | 1件   |
| 2 | 一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率が高い契約(工事)                          | 1件   |
| 3 | 一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約(工事)                        | 1件   |
| 4 | 指名競争入札方式(工事)  | 1件   |
| 5 | 随意契約方式(工事)  | 1件   |
| 6 | 一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約(業務等)                            | 1件   |
| 7 | 落札率が高い契約(業務等)   | 1件   |
| 8 | 一者応札・応募の契約(業務等)   | 1件   |
|   | 抽出件数(計)   | 8件   |

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答  
別紙のとおり。
- 7 委員会による意見の具申又は勧告の内容  
なし。

以 上

|   | 意見等   | 回答   |
|---|---|--|
| 1 | <p><b>【31-アーベインルネス別府ほか3団地給水施設改良（直結増圧化）その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1社しか来なかった理由は。</li> <li>・同業他社はどのくらいいるのか。</li> <li>・実績というのはURの実績に限らないのか。</li> <li>・過去のURでの同種工事の実績にて、実質応札できる適者の概数を知ることができるかという意味で質問した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定配置技術者及び職人の確保が難しかったという話を聞いている。</li> <li>・競争参加資格要件である「管工事A」で登録している業者数は確認しているが、その中で公募条件を満たす業者（同種工事に係る実績等）がどのくらいいるかは分からない。</li> <li>・そのとおり。</li> </ul>   |
| 2 | <p><b>【梅ノ木団地基盤整備その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格点のウェイトが低い気がするが。</li> <li>・評価基準、点数は公募時に公開しているのか。</li> <li>・では、業者自ら試算できるということか。</li> <li>・施工計画については、完了時に提案通りに履行されていない場合はどうなるのか。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機構における総合評価方式実施ガイドライン（土木・造園工事）において、価格評価点の算定方法を定めている。</li> <li>・公開している。</li> <li>・施工実績に係る項目は、業者自ら算定できる。</li> <li>・原則は施工計画の履行に係る覚書を交換したうえで、確実に履行していただくことが前提であるが、実際に履行されない場合は、工事成績評定で減点し、次回公募時の評価項目において反映される。</li> </ul> |
| 3 | <p><b>【31-アーベインルネス別府ほか3団地給水施設改良（直結増圧化）その他工事】</b></p> <p>※1と同一案件</p>   |  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | <p><b>【R1－星の原団地駐車場修繕工事】</b></p> <p>・指名業者は規則的に選定しているとのことだが、何社かを選んで行うときもあるのか。</p>                        | <p>・希望者数が多いときは、そのような事もある。</p>  |
| 5 | <p><b>【R1－新下関ほか3団地エレベーター安全対策改修等工事】</b></p> <p>・このような工事は随意契約となってしまうため、当初の建設時の発注方法が大事である。</p>            | <p>・現在は新規で設置するときはメンテナンス一体の契約を締結している。</p>   |
| 6 | <p><b>【令和元・2年度福岡工事事務所管轄内工事監督業務（総主任（建築））】</b></p> <p>・実際に働いている人数は。</p> <p>・職種ごとに分けて発注しているのは今回からなのか。</p> | <p>・委託契約は人員数ではなく、人工で業務量を明示している。<br/>今回の「建築」に関しては、概ね二名の担当技術者と一名の連絡員が従事している。</p> <p>・今回からである。競争性拡大のために職種ごとに発注する方針となった。</p> |
| 7 | <p><b>【平成31年度西中央団地ほか昇降機保守管理業務】</b></p> <p>・特になし</p>  |  |
| 8 | <p><b>【平成31年度九州支社事業に係る不動産鑑定評価業務①】</b></p> <p>・落札率が低すぎるということは、予定価格が高いのではないのか。</p>                       | <p>・過去の入札結果においては、落札率が高い時と低い時がありバラつきがあった。<br/>鑑定報酬基準は国の基準に準じているため、公正に積算していると考えている。</p>                                    |